

**令和3年度 市長タウンミーティング**  
**「藤井寺市のごみ減量化について～食品ロスを考える～」実施概要**  
**(令和4年3月19日実施分)**

**■テーマ1「ごみの減量について」**

岡田市長より、藤井寺市のごみの発生量やごみの組成・資源化・ごみ処理に係るコスト等について、スライドを使用しながら説明を行いました。その後、参加者より藤井寺市全体のごみの量を減らすために市が取り組むべき内容や、市民や事業者が取り組んだ方がよいと思うことなどについて、意見やアイデア等をお聞きしました。

**【市長からの説明】**



**【参加者からいただいたご意見やアイデア等】**

- ・ 藤井寺市で野菜の茎や葉を使ったレシピ動画を作ってはどうか。
- ・ ゴミが多いのは藤井寺市に活気があり、市民が購入しているからでは。
- ・ 回収を週2回から2週間に3回に減らすことで、各家庭の排出量を減らせるのでは。
- ・ 持って出た荷物は、使った後はゴミなので持ち帰るようにする。
- ・ 簡易包装にする。ネット購入の段ボールなど過大な梱包をなくす。
- ・ 焼却灰を再利用する。
- ・ 市民一人一人の意識改革を。
- ・ 捨てればゴミ・集めれば資源と言われるが、ゴミの資源化対策を積極的に実施してもらいたい。
- ・ 生ゴミを肥料化するコンポストの推進。
- ・ 落葉や植木等を焼却せずに堆肥化する事業など。
- ・ 粗大ゴミの回収について、料金について検討してはどうか。
- ・ 今回のような講習会などの資料は、配布を省くことができるところは省いても良い。
- ・ 雨の日の傘袋（ビニール袋）は必要ないと思う。
- ・ 他市では広く市民にアイデアを募集しているので、藤井寺も啓発を兼ね行ってはどうか。
- ・ 子どもの衣服等を有効活用できるシステムについて、市等が取り組んでほしい。最近は業者も引き取ってくれず、ゴミとして出すしかないという話も聞く。

(例) 市等が主体となって不用となった衣類・生活用品等を市民から引き取り、欲しい人に無料で使ってもらう。いつでも持ち帰ってもらえるよう場所を作る、等。

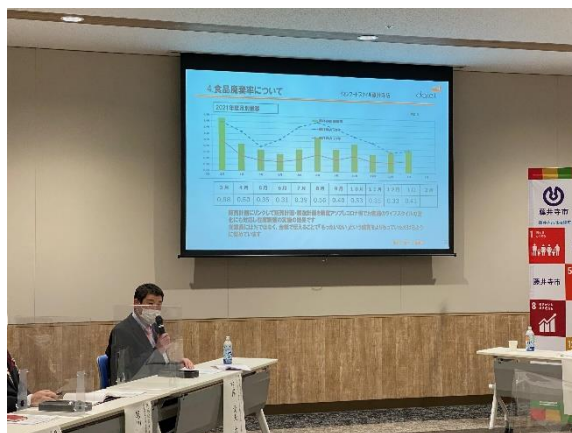
- ・ 事業者向けに食品ロス削減協力店制度の導入。事業所も削減に取り組んでいる事を市民にアピールできる。
- ・ 食品ロス削減イベントの実施。食品ロスになりうる食材を有効活用するレシピなどを企画して啓発する。
- ・ 30・10運動は是非とも実践していただきたい。
- ・ 家庭で焼却炉を利用できれば少しはゴミが減ると思う。
- ・ 一人一人が意識を持つことが大切だと思う。

## ■テーマ2「食品ロスについて」

家庭・事業所のそれぞれから食品ロスは発生しており、それらの削減には一人ひとりの意識や日々の取組が大変重要になります。

そこで、テーマ2では事業者の皆さんの様々な取組について、スライドを使用しながら貴重なお話をお聞きしました。その後、参加者の皆さんからご意見等やアイデアをお聞きしました。

### 【事業者様から取組事例の発表】



○株式会社ダイエー様



○藤井寺市社会福祉協議会様

### 【参加者からいただいたご意見やアイデア等】

- ・ 藤井寺市ではペットボトルは専用かごで回収しているが、容器や牛乳パック等の回収はしていない。ありがたい事にスーパーが実施しているところがあるので、もっと他のスーパーでも広まれば良いと思う。
- ・ 以前から外食は量を少なく注文するなど食品ロスへの関心を持っている。年金生活や子育て中の人達は食べ物を捨てる余裕はない。売手側には果物など中身が見えない物は確かな品物を提供して頂くようお願いしたい。売手には買手の

ニーズに合った物の提供をお願いしたい。

- ・フードドライブ活動の窓口を市役所（シュラホール、支所等でも可。）にも設けてはどうか。
- ・規格外品の販売を市で日時を決めて実施してはどうか。
- ・藤井寺市には高齢者・障害者・子ども食堂等の団体があり、その団体に呼び掛けることも検討していただければと思う。方法はあると思う。  
社協さんの取り組みも啓発が必要だと思う。ネットワークを使って他団体と協力する等も良いかと思う。職員さんの負担軽減のためにも。
- ・市の広報紙等で、写真などを掲載し具体的にかんりの食品ロスが出ていることを伝えていく。
- ・食事等を過剰に作らない。（人数・量）
- ・SNS等に見栄えの良い食べ物等を見たくて購入しない。（嗜好が合わない場合があるので）
- ・スーパー等で安いからといって多く買わない。
- ・献立表を作って材料を工夫して買い物をする。

#### ■岡田市長より閉会の挨拶

<終了>